教育

あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

○○52

第3章・ゆとり教育世代の見えない学力

子どもが人類の希望に

未曽有

東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。3週間がたちましたが、まだまだ救援・支援を必要としている方々は大勢いらっしゃいます。災害では助かったが、水、電気、燃料、そして薬がなくて命を落としている方々のことが連日報道されています。救援・支援は一刻を争います。一人でも多くの方々が救われ、一日でも早く復旧、復興することをお祈り申し上げます。

22日、日本航空高校副校長の篠原雅成先生より電話が入りました。「全寮制の中学・高校なので取り急ぎわれわれができることとして『被災学生・生徒の受け入れ』をご案内します。日本航空学園の中学、高校、専門学校に転校、入学、一時退避が可能。山梨、石川、千歳の全ての寮に50～200人。制服・身の回り品等心配ご無用で、授業料の他、寮費・食費など諸費用も特待生扱いをします。被災地まで学校のバスで迎えに伺います。ご家族の避難も可能です。電話0551(28)3355」と。子どもたちの教育を受ける機会を救援・支援する情報がそれを必要としている方々に一日でも早く届きますよう願っております。

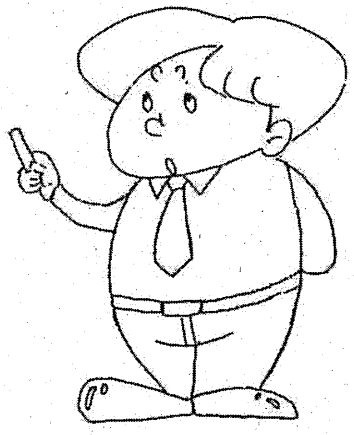
不自由から学ぶもの多く

また、大津波と大火で甚大な被害を被った気仙沼市のゴトウ学習塾の後藤泰雄塾長からは「被災した受験生を支えるため中高生向け参考書の支援を呼び掛けています。届いた数や種類に応じて学習塾同士のネットワークを生かし、気仙沼市内や近隣の塾、受験生に贈りたいと思います。電話0226(23)1310」と電話が入りました。その後、「おかげさまで31日に授業を再開します。どれぐらいの生徒が戻ってきてくれるか不安ですが、前に進むしかないと思っています」と力強くおっしゃいました。

このたびの大震災は、放射能漏れ事故もあり、未曽有の大震災となりました。特に太平洋岸の大津波の被害は甚大で、日々繰り返される報道を見るたびに言葉を失います。原発の問題は、あらためてわれわれの安全・安心・便利なライフスタイルに疑問を投げ掛けています。確かに近代化は物質文明を推し進めてくれました。世界を短時間で結び、アジアを一つに思わせました。しかし、電気も電波も新幹線も止まってしまった3週間、私たちは自分の「地域」にとどまって「家族」を核とした共同体を見つめ直すこととなりました。私たちの生活は自由ではあったが、自然の前には決して自在ではなかった。不自由から学ぶものは、あまりに多すぎます。

目を閉じて、耳を澄まし、言葉を手繰り、まだ見ぬ世界を懸命に思う時間でした。復興には途方もない時間と労力が必要になるでしょう。しかし、きっと人類は未曽有の難題、未知の難局をも解決できるはずです。私たち一人一人が一つでも多くの共鳴する箱を胸に抱くことから始めたいと考えます。学力は未知の問題解決能力です。子どもたちが人類の希望です。

（畑山篤＝志学塾塾長）



by yoriko

子どもの安全科学

まず20メートル逃げ切ろう

8

て

ん。ただ、ここで考えなければならないのは大人と子どもでは走ることでした。

彼らは子どもを追い掛けるとき、8～9メートルに、16メートルまで追い掛けなれば、「無理か？」と思い始めます。さらとなります。そして約20メートル走った地点「駄目だ」と、足をめる傾向があるようです。つまり、子どもとってはまず20メートルを張って逃げ切ること

理科離れ対策 大学懸命

絵 科